

地元の区議会議員情報紙

とりがい秀夫の地域ニュース

南千住 8-3-3-201 電話 & FAX (3 8 0 7) 4 8 1 1

自民党機関紙【40】22年12月号 毎月発行



都バス西口発着決定

平成4年の研究会発足から18年。事業費130億円、29階建て106メートルの南千住駅前再開発ビルが完成して1年が経過しようとしています。

区民の集会室機能の施設である「ふれあい館」は利用者数も増加し、1年間で4万人近い方が利用しようとしています。建物内の店舗も開設当初は10件でしたが現在は27件と増加し、賑いが出てきたと同時に、周辺にも店舗が増える傾向が出てきました。ロータリーが整備されると更に賑いが出て来ると考えます。再開発により賑わいのある、



南千住駅前再開発ビル

スッキリした街並みになれば協力した方々も喜ぶのではないのでしょうか

来年3月26日 西口～東京駅出発

駅前ロータリーが来年早々の完成を目指し、現在、仕上げ作業の最中となっています。私が議会で提案してきましたが、現在2丁目の車庫で終点となっている都バスが、西口まで延伸する事が決定しました。これにより来年から、「東京駅行き」「東神田行き」の2路線が発着する事になります。



工事進む 南千住駅前保育園

来年4月開設 区議会自民党が提案

昨年の9月、私の所属する区議会自民党議員の質問に区長が



工事中の駅前保育園



建設前の駐車場

答弁しましたが、東京メトロ南千住駅前に隣接の保育園工事が来年4月完成に向け、順調に進んでいます。待機児児童の減少を目指しての新たな保育園です。50人規模の認可保育園で、0歳から5歳児まで受け入れます。運営は鉄道弘済会が行います。

汐入おもちゃ図書館開所式

12月18日 柳田邦男氏記念講演行う

「おもちゃ図書館・子育て交流サロン」及び「汐入図書ステーション増設」の工事がこの度終了し、18日に開所となりました。この日のために、童話作家の柳田邦男氏から「子供はもちろん大人ももっと絵本に親しむ事が、心の癒しになる」との素晴らしい話を伺いました。ここには相談員が常駐し、「親子の相談室」も併設します。図書館部分には7,600冊ほどの児童図書を置く事になります。現在の汐入図書ステーション利用者は年間15万人、1日500人が利用していますが、さらに多くの方の利用が予想されます。



熱く語りかける柳田邦男氏

変わるコツ通り

商店街がスッキリ 電柱が地下に

東京都は今後、都道については、電柱の地下化を順次進めていくとの方針を崎山・前都議会議員から伺いました。荒川区に於いては、すでに尾久橋通りが完了しています。この度、南千住駅前の再開発完了に伴い、コツ通り商店街を整



アーケードの撤去が進むコツ通り

備する事になりました。区間は「すさのう神社」から「涙橋」にかけての片側800mづつの1600mを整備する事になります。コツ通り側の工事は来年にかけて歩道のアーケードの撤去等を行います【写真参照】涙橋側は共同溝工事を行いますが、全長の距離が長いので完成まで6年くらいの期間を見込み、事業費は7億円位との事です。私は議会の中で、歴史的にも古いこの通り「陸羽街道」を浅草伝法院通りのように、歴史の匂いのする街並みに整備すべきと発言してきましたが、更に発言していきます。

貨物線駅歩道橋 エレベーター来春完成

3年間にわたり私と、地元有志の方で東京都に働きかけてきた「JR貨物南千住駅歩道橋エレベーター」の設置がいよいよ実現の運びとなりました。23年の2月には完成します。これにより高齢者や障害者、自転車利用者にとっては利便性が飛躍的に向上する事になります。本来はエスカレーターも要望していましたが、メトロ入口付近の構造が複雑なので、エレベーターのみとなりました。



有馬記念と汐入の深い縁(後半)

ありまよりやす 久留米藩 有馬頼寧の功績

有馬頼寧は福岡県久留米藩主の子として生まれ、農政に携わりますが、後に衆議院議員・農林学者・農林大臣となり日本中央競馬会理事長に就任し、競馬の発展や大衆化に尽力します。昭和31年に中央競馬のオールスター戦を発案、「中山グランプリ」として創設しますが、それから程なく逝去します。彼の功績を称え「有馬記念」と改称され、今日の年末の国民行事にいたります。有馬はこの間、夜間中学を設立するなど慈善事業にも奔走しました。

汐入周辺はホタルの名所

有馬は幼少の頃、台東区橋場に住んでいた事から汐入との関わりを持ち始めます。汐入村でのホタル狩りを報告していますが、当時の汐入周辺は湿地の多い場所でホタルの名所としても知られています。有馬の調査した東京で最初

の民俗学「汐入村の変遷」は、江戸から明治期に於ける汐入から南千住地域の発展の過程を1期 4期に分け、発表しています。1期目は 明治10年の千住製絨所の設置により、衰退していく町に多くの雇用を生み出した事(場所は南千住6丁目のスポーツセンター・警察・スーパーライフ・工業高校一帯) 2期目は 明治20年の火葬場の廃止で、現在の南千住駅から第二瑞光小学校一帯に在った火葬場を日暮里に異動させ、刑場も土地を清め宅地化に成功させた事。3期目は 明治27・28年の隅田川貨物駅と常磐線の開設で、これによりますます人の往来が多くなった事。4期目は 明治39年の大日本紡績【ニチボウ】と東京毛織工場【カネボウ】の設置で、この工場の稼働により3,000人の職工が働き【現在の汐入のはなみずき・けやき・とちのき通り一帯】、合わせて汐入の渡し場も開設した事等を報告しています。【詳細は南千住図書館で】



有馬頼寧と彼の冠を付けた「有馬記念」競争

